

ナンキセダカコブヤハズカミキリ生息地

種別 記念物（天然記念物）

所在の場所及び所有者等

所在の場所	面積	所有者等
田辺市本宮町静川 大塔山国有林 1 1 1 林班ぬー1 小班、1 1 4 林班ぬ小班、 1 1 5 林班ほ小班	26.44 ha	農林水産省 (和歌山森林管理署)

位置図



指定範囲図 別図1 のとおり

指定理由

ナンキセダカコブヤハズカミキリ (*Parechthistatus gibber nankiensis* yokoyama, 1980) は、体長 15~22 mmのコウチュウ目カミキリムシ科に属するカミキリムシでセダカコブヤハズカミキリの紀伊半島南部固有の亜種である。雄は体長の3~3.5倍、雌は体長の1.6倍の触角を持ち、体部の微毛は茶褐色である。原亜種と比較して肩部の側縁が丸く、上翅端の棘状突起が非常に発達していることが特徴で、原生林におけるブナ、ヤマザクラなどの枯木、倒木に生息する。

本種は、和歌山県外では報告例がなく、県内では、田辺市本宮町と東牟婁郡古座川町にまたがる大塔山、田辺市本宮町静川の大杉谷・黒蔵谷、新宮市熊野川町上長井・西、東牟婁郡古座川町平井・松根、東牟婁郡那智勝浦町那智山に報告例がある。その分布は大塔山系を中心とした地域に限定され、特に、本種が生息していくために必要な原生林がよく残る大塔山山頂及びその北方一帯には高密度な分布が見られる。

ナンキセダカコブヤハズカミキリは、和歌山県固有の昆虫で、名称に「ナンキ」が付くなど、和歌山県を代表する昆虫類の一つである。また、その生息地は和歌山県の大塔山周辺に限られ、特にその中心は山頂付近である。このように、大塔山山頂付近の「ナンキセダカコブヤハズカミキリ生息地」は学術上の価値が高いことから、これを和歌山県指定文化財〔記念物（天然記念物）〕に指定して保護を図るものである。



ナンキセダカコブヤハズカミキリ

別図1

ナンキセダカコブヤハズカミキリ生息地 指定範囲図(1/5000)

